

政府の「瀬戸際」の宣言から1ヶ月経ったが、コロナ感染の勢いが止まらない。マスク、トイレトペーパー不足はあるも、パニックは生じずなんとか落ち着いて対処できている。

ハーブでも職員に感染予防等の協力を求め、きちんと対処してくれている。感謝感謝。手前味噌だが、私の様々な急な要求に職員さんはよく対応してくれていると思う。多岐に渡る医療介護の伝達内容を、各部門の調整役がよく隅々まで伝え、確認し合い、実行に移す。日頃のトレーニングがいざという時に力を発揮するのだ。

無理矢理生活の動きを停止された今こそ、日頃行えない身の回りの細かい整理や仕事の準備を行い、近い将来の始動に備えよう。ヒマを持て余すのはもったいない。当院外来では、電子カルテ運用のさらなる改善やオンライン診療の準備。介護ではタブレットを用いた情報集約による無駄の削減など。やることは色々ある。

個人的には「室内」が「危険」ならばと、休日は公園での散策を早朝から楽しんでいる。日中マスクばかりの生活ゆえ、青空の下、芽吹き始めた木々花々の薫りを深呼吸しながらのぶらぶらは最高に心地良い。

そこで春の俳句4首。

- 学校をなまけて春の山に来る(高野素十):今年はずいずい長い春休みだ。
- 春の山たたいてここへ坐れよと(石田郷子):暖かくなってきた春の地面の安定感。
- はなびらの肉やはらかに落椿(飯田蛇笏):踏まぬよう注意しつつの山歩き、です。
- 春の雲縛を解かれて飛んでをり(上野泰):冬の間は縛られるように固まっていた雲が、縛めを解かれたように自由に様々な形で漂う。

そんな軽やかな気分を今を過ごし、乗り切ってくださいませ。

ハーブ内科皮フ科

理事長 竹内 秀俊

スタッフブログも毎週更新中! [ハーブ内科](#) [検索](#)

発行元:(医)ハーブ内科皮フ科・(株)ハーブライフケア

所在地 知多郡阿久比町横松宮前 67

TEL 0569-49-2752/FAX 0569-49-2753

【回想法・学習療法デイサービス】

コロナウイルスの影響でデイサービスの日常風景もいつもと違います。例えば…

- ★マスク使用者が大半(職員は全員)
- ★1日3回四方の窓を開けて換気
- ★1日2回送迎車と施設内を消毒
- ★日常生活リハビリに使う備品も日々消毒
- ★送迎中は窓を5cm開けて走行
- ★手洗いは石けんが必須
- ★手作りおやつは通常と違い職員のみで作成など…他にも多数あります。

日常生活リハビリとして手作りマスクに取り組む方もみえます(写真は作成中の様子です)毎日の報道を見て気持ちも沈みがちですが、皆様にご協力頂きながらこの状況を元気に乗り越えて行きます!

ハーブデイサービス・グループホームでは、認知症予防・維持改善のため、くもんの学習療法を取り入れています。

学習療法のコマ並べの様子です。数字盤100コマは時間もかかり難しいですが、慣れていたらすいすいと並べていきます。数字の向きをキッチリ揃えながら並べる方、1から順番に探しながら並べる方、次のコマを見ながらスピード勝負の方など並べ方ひとつにも個性があります。また、小さなコマを持って手を



動かす事で手のリハビリにもなります。読み書き・計算のような勉強感覚ではなく楽しみながらできるのでコマ並べが1番好きという方も多いです。

【外来】

入職して1年が経ちました。患者様のお顔とお名前も覚え始め、毎回、気配りを持つことを心がけ外来受付にいます。今は、新型コロナウイルスの影響で不安の中受診される患者様に、少しでも安心して通院していただけるように、院内の消毒・換気はもちろん、マスクで表情がわかりづらいですが、笑顔でお迎え、笑顔でお送りしたいと思います。季節も春となります。明るい華がある外来雰囲気になるように頑張っていきます。